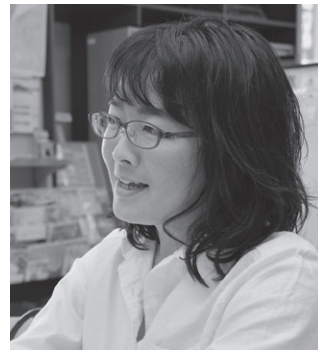


12年前、結婚、そして旦那さんの転勤で移住することになった、前田さん。旦那さんの職場は北杜市でしたが、生活に必要なものが一通りそろっている韮崎を居住地に決めたと言います。もともと横浜に生まれ、街中で育つたため、夜暗くなるという経験をしたことがなく、夕暮れのカエル

の声に脅えて泣いていたこともあると、当時は笑顔で振り返る前田さん。さらには、子どもができたことで、なかなか外に出ることもできず、知り合いがいらない中での生活は寂しく落ち込むことも多かったそうです。誰にも相談できない：そんな前田さんを助けてくれたのは、当時、子育て相談を行っていた藤井保育園の先生。生活についてもすべてを相談できるその環境に支えられ、現在は2児の母です。

子育てについて、前田さんは「子育てには本当にいい環境と感じている」とのこと。また、「豊かな自然とあぐさくしないこの環境が子どもをのびのびと育ててくれる。子どもを見てくれる環境も充実しているし、本当に助かっている。」と、この地でゼロからスタートした子育てを楽しんでいます。

「移住という点、お店をはじめるとかかっこいい何かをしなくてはいけないという風潮があるけれど、私は普通。普通のお母さん。無理せず自分のできることをしていきたい。かっこいいものだけを移住じゃない。これからもこのまちでほっとする暮らしを続けていきたい。」という前田さん、現在は自分の経験を移住を考える方のために役立たいと韮崎市移住応援団に所属して、サポートしてくれています。



中野町 前田 綾子さん

「かっこいいものだけが移住じゃない」

シリーズ 移住者インタビュー vol.4

ジェネリック 医薬品に

してみませんか？

新薬と同じ有効成分、効き目も同等。
安全・安心で、家計にやさしいお薬。
それがジェネリック医薬品です。



知っている人は、即答します!

イラスト・オエムシ

ジェネリック医薬品をおすすめする理由

お薬代が安くなります

ジェネリック医薬品は、新薬の特許が切れたのちに製造・販売されるので、開発にかかる費用を抑えられ、お薬の価格が新薬よりも平均して5割ほど安くなります。

次世代の福祉を守るために

増大し続ける医療費の削減につながります。お子さん、お孫さんの世代まで安定した医療保険制度を維持し続けるためにも、ジェネリック医薬品をおすすめします。

飲みやすくなった薬も

形や大きさを変えたり、苦みを抑えたりして新薬より飲みやすくなったお薬もあります。



ジェネリック医薬品を希望する方はお気軽に医師・薬剤師にお申し出ください。

山梨県・山梨県後発医薬品安心使用促進協議会

〒400-8501 甲府市丸の内一丁目6-1

問い合わせ先：山梨県福祉保健部衛生薬務課

☎055-223-1491